さいと市議会だより

第121号

令和７年８月１日発行

西都市青少年健全育成市民大会
（三納小学校6年・女子児童の意見発表　題目「友と向き合う今、会話の大切さ」）

●4月臨時会の概要●

令和7年第3回臨時会は、4 月28日に招集され、市長提出議案6件の審議を行い、採決の結果、5 件を承認、1件を同意としました。

●5月臨時会の概要●

令和7年第4回臨時会は、5月29日に招集され、市長提出議案1件の審議を行い、採決の結果、原案可決としました。

●6月定例会の概要●

令和7年第5回定例会は、6月9日に招集され、6月27日までの会期で市長提出議案20件、陳情2件について審議を行いました。採決の結果、市長提出議案についてはいずれも原案可決となり、陳情2件については採択としました。

主な掲載内容

◎緊急質問 ･･･P2
◎一般質問 ･･･P2～5
◎議案審議結果 ･･･P6
◎委員会審査概要 ･･･P7,8
◎陳情審査結果 ･･･P8

西都市議会ホームページ
ホームページはこちらから↓
西都市議会　検索

マチイロ
ダウンロードはこちらから↓
さいと市議会だよりをアプリで配信中！

西都児湯医療センターの諸問題についての緊急質問

創生会　米良　弥

動画はこちらから↓

※本会議全体のもの

問① 平成28年4月1日に、西都市が100%出資する地方独立行政法人に経営形態を変更した理由について伺う。

答 従前より医師不足による病院存続の危機があり、医師の派遣元である宮崎大学医学部からの要請に応え、より公的な法人形態として設立した。

問② 地方独立行政法人西都児湯医療センターの経営の独立性と経営責任について伺う。

答 設立団体である西都市の関与を排除し、中期目標の枠内において法人自身の責任のもとで事業運営を行うことになっている。理事長は法人を代表し、法人の運営全般に関する責任がある。

問③ 令和3年度以降の年度末キャッシュフローについて伺う。

答 令和3年度末6413万円、令和4年度末1億2766万円、令和5年度末1億6806万円、令和6年度末は未監査であるが1893万円である。

問④ 経営悪化の原因を伺う。

答 医師不足に加え看護師不足が原因である。

問⑤ 令和7年度当初から資金不足になるとの認識時期と対応策について伺う。

答 令和5年度後半から資金不足は認識しており、令和6年度当初常勤医師1名を確保したが年度末には資金不足となることを認識していた。令和5年度から理事長、職員の賞与の減額を実施している。

問⑥ 長期借入金を3億円とした理由について伺う。

答 令和6年度のキャッシュフロー減少額1億5千万円と7年度の重点事業等に要する経費6千万円、7年度末のキャッシュフロー残高9千万円を見込んだ。

問⑦ 3億円の貸付けで今後の経営は安定するのか伺う。

答 今回の貸付けで財政状況が直ちに正常化するものではない。

問⑧ 医師確保の見通しを伺う。

答 目途はたっていない。

問⑨ 市が、3億円の5年据置、15年払いという長期貸付を決定した理由について伺う。

答 市からの長期貸付以外の資金調達方法はない状況の中で、市民の安心安全を守るため決断した。

本市の放置竹林・選挙投票について

公明党　浦田　明子

動画はこちらから↓

問① 放置竹林は多くの地域での深刻な問題となっており、竹林の適切な管理が行われておらず、周囲の自然環境や人々の生活に様々な悪影響を及ぼしている。本市の放置竹林の面積、現状、発生原因、既存の対策内容を伺う。

答 本市の竹林面積は、令和6年3月発行の宮崎県林業統計要覧によると約520haとなっているが、放置竹林の面積、現状については県・市ともに調査を行っていないため、把握できていない。また、放置竹林の発生原因として、日用品として使用されてきた竹材製品が減少、竹林所有者の高齢化、後継者不足等が考えられる。既存の対策は、本市と包括連携協定を締結している大和フロンティア株式会社が竹を活用した飼料・肥料を製造しており、条件付きではあるが、無償で伐採を行っており、竹林所有者から放置竹林等の伐採の相談を受けた際に、その会社を紹介し、放置竹林の解消につなげているところである。

問② 放置竹林、竹林管理に必要な予算・支援事業はあるのか伺う。

答 本市の予算及び支援事業はないが、国の支援事業として、林野庁による「里山林活性化による多面的機能発揮対策」があるが、この対策は地域の身近な里山林の多面的機能の発揮や山村地域の維持・活性化を図るため、地域住民等が連携し竹林資源を活用する活動を支援するものであり、支援内容は対象となる森林において、3年間の活動計画を立てた際に、各年度に行う支援対象作業に係る人件費、燃料代等に対し、定額で支援するものである。

問③ 竹林を利用した資源活用や経済的利益について、どのような検討協議がされているか伺う。

答 竹林資源の活用策の検討については、竹材を木質系バイオマス資源の一つとして捉えており、発電用の燃料資源や土壌改良資材、飼料、肥料用としての笹サイレージ、また、その産業化について、農林課の所管するバイオマス活用推進協議会で検討を行う。

問④ 選挙投票について、選挙支援者カード導入の進捗状況を伺う。

答 選挙支援者カード導入は令和6年10月、衆議院選挙より執行され期日前投票所含む市内全ての投票所に設置している。

市長の政治姿勢・医療センター・トイレ洋式化について

新風会　中武　邦美

動画はこちらから↓

問① 医療センターの運営状況については、二者協議の報告だけではなく、四半期ごとの決算報告をしていただき、注視して行く必要があると思うが、伺いたい。

答 定例会ごとの委員会において運営状況などについて報告を受け今まで以上に注視していく。

問② 医療センターの第4期中期計画については、現実に沿った計画をされるよう、変更命令をしていただきたいと思うが、見解を伺いたい。

答 中期計画の見直しについては慎重に判断していくが、年度計画については、変更を指示していく。

問③ 令和9年4月から、寄附講座を設置することにより、2名の医師確保ができるとあるが、その根拠と、寄附講座について伺いたい。

答 寄附講座などの取り組みにより、令和9年度には医師2名の増員を見込んでいる。寄附講座とは、大学や研究機関に対し寄附を行い、講座を設置する制度である。

問④ 令和6年度に支払った理事長及び事務局長の給与及び各種手当を含めた合計金額を伺いたい。

答 医療センターによると、理事長については、年収1800万円と設定されている。事務局長については、公表できないとのことである。

問⑤ 国家賠償請求事件について宮崎地方裁判所は、西都市に対して77万円の支払いを命じたが、その対応について伺いたい。

答 市としては控訴せず、原告も控訴しなかったので、判決が確定している。

問⑥ 本市公立学校トイレ洋式化率と、今後の改善計画を伺いたい。

答 本市の小中学校のトイレ施設の洋式化率が低いことについては認識しており、計画的に改善を図っている。今後、洋式化率が低い学校を優先的に、毎年度計画的に、改善していくことにしている。

西都児湯医療センター経営再建について

創生会　米良　弥

動画はこちらから↓

問① 第4回臨時会に提出のあった医療センターの収支計画は3億円貸付けの根拠になったのか、また、貸付けの意思決定において2024年度実績見込みやそれ以前の実績を勘案したのか伺う。

答 この収支計画は、貸付け決定の根拠の一つであり、実績見込み等を勘案して決定した。

問② この収支計画で最も重要な2024年度実績見込みの医業費の項目において、給与費が前年に比較して5千万円ほど低く、医業費内訳の合計金額と医業費との差が7千8百万円ほどあるがその理由と発生原因について伺う。

答 差額の7千8百万円は、法定福利費で給与費に含めるべきものであるが、給与費への加算がされておらず、合計金額との差額が生じたため、その法定福利費を医業費に直接加算して調整したために発生したもので、収支計画作成委託先の経営コンサル会社での入力ミスが原因とのことである。

問③ 2024年度の実績見込みは決算日を過ぎた4月11日現在のものとのことであるが、医業費の見込みが決算額と1千2百万円ほどの差があり、内訳の費目も大きく差が生じているのはなぜか伺う。

答 3月請求分が未確定のための見込み違いとのことである。

問④ 収支計画の審査において最も重要となる2024年度実績見込み額が、経営実態と乖離し、正確で適正なものではなかったということは、貸付額を3億円とした根拠の信憑性が無くなる。再度正確な資料提出を求め、貸付額や貸付時期などを検討するべきと考えるが、市長の見解を伺う。

答 2024年度の実績を反映させた資料の再提出を求めている。今後、2者協議や正確な経営状況把握を行い、貸付額及び貸付け方法について検討する。

問⑤ 医療センター理事長は経営悪化や今回の問題について、どのような責任をとられるのか伺う。

答 理事長、事務局長の給与カットを考えているとのことである。

問⑥ 医師確保について伺う。

答 令和8年度一人増員の計画であるが、目途はたっていないとのことである。

観光推進と商業活性化・社会福祉推進・子育て支援について

すみれの会　森　祐子

動画はこちらから↓

問① 観光推進と商業活性化について

イ 創業支援の実績と継続状況は。

答 過去4年で64件、継続62件。

ロ 開業後のサポート体制は。

答 経営相談や販路拡大、セミナー参加など伴走型支援を推進。

ハ このはな館に設置のパンフレットに閉鎖した施設や休業日等、古い誤った情報が掲載。更新は。

答 多額の費用が必要なため、安価ですむデジタルに注力している。

ニ 紙媒体は、残すものを精査し、予算を集約して効果的な展開を。

答 更新頻度が高い内容は可能な限りデジタル化を図り、利便性が高いものは印刷物で発信していく。

ホ 市内店舗情報や西都ピカイチ認証品等のガイドブックを作成し、このはな館に設置できないか。

答 方法を検討し、他地域の取組も参考に早急に進めていく。

ヘ 市内周遊するための購入型企画ガイドブックを作成できないか。

答 花の無い時期の集客等メリットはあるものと考える。費用や実施方法に課題もある。

問② 今後改選を迎える民生委員・児童委員、欠員等の課題に対しどう対応するのか、市長の意気込みは。

答 国の動向を注視しつつ、過剰な負荷がかからぬよう目を配る。

問③ 社会福祉協議会について

イ 災害時に社協職員を災害対策本部にオブザーバーとして加えることを提案するが、いかがか。

答 情報共有・連携強化の観点から、1つの案であると考える。

ロ 現状の組織体制では人員不足が課題。職員の処遇改善など、安定した運営に向け支援等の考えは。

答 緊密な連携・協力体制は継続しつつ、協議させていただきたい。

問④ 産後ケア・助産師ケアについて

イ 利用率をあげる手立ては。

答 支援をまとめた「おやこ・子育て支援マップ」を作成する。HPやLINEでの啓発も。

ロ 産後ケア事業に「ショートステイ」を組み込んでいただきたい。

答 母親の心身のケアや支援に有効。充実に向け協議をしていく。

ハ 助産師ケアを無償化に。

答 子育て支援が公約でもあり、移住定住促進、人口減少抑制に繋げるためにも検討していく。

農業基盤・農業後継者・市営住宅について

令和の会　太田寛文

動画はこちらから↓

問① 農業基盤整備について

イ 土地改良施設は、整備後約50年経過しており、施設の老朽化がみられる。これから、更新や補修が多く出てくると思われる。その対策は。

答 農業水利施設の更新、改修等については、財政状況を見据えながら、計画的に整備を行っていく。国と県との連携を図りながら、現場に適した有利な事業を取り入れ、農家負担の軽減を図っていきたい。

問② 農業後継者対策について

イ 大規模化による農業機械・施設等への投資が求められる。今後の親元就農支援の在り方は。

答 親元で就農する際の経営規模の拡大や省力化などの経営改善に必要とする機械・施設等の導入を支援するため、3分の1以内、補助金の上限100万円とする従前事業の見直しをした。また、令和7年度から、親元就農者向けの国庫事業である世代交代円滑化事業が、新たに創設された。この事業は、令和4年度以降に農業経営を開始した49歳以下が対象で、経営資源の有効利用に向けた取り組み等に関しては、3分の2以内、経営発展に向けた取り組みに関しては、4分の3以内の補助で、上限600万円となっている。各個人の就農状況に合わせ幅広く支援していきたい。

問③ 市営住宅の改修について

イ 高齢入居者を対象として、水回り整備を含めた補修・改修をすべきと思うが見解は。

答 令和6年度から、妻東住宅において、各住宅のシャワー付き給湯器本体の更新に併せて、浴槽も広く、高さを低くした高齢者にとって出入りのしやすい設備に改修している。今後、他の市営住宅についても改修を実施し、高齢者の利用に配慮した整備をしたいと考えている。

ロ 今後の再編を含めた市営住宅の在り方は。

答 現在、建築年数を経過した市営住宅から他の住宅への移転を実施しており、移転完了後に老朽化した住宅の除却を行うことで、管理戸数の削減を行っている。今後は、集約化や用途廃止を行い適正な管理戸数への誘導を実施する。

市政運営の基本姿勢・医療センターへの3億円融資について

日本共産党　狩野保夫

動画はこちらから↓

問① 市政運営に臨む基本姿勢と掲げた公約実現に対する決意は。

答 市民や関係機関、団体の皆さんとの信頼関係と絆を大切に「オール西都」で新たな西都の未来を切り開いていく決意である。

問② 医療センターに「3億円」融資について。

イ 3億円融資を決断した理由は。

答 設立団体の長としての責任から長期貸付を決定した。

ロ 融資をしなかった場合、医療センターはどうなったと考えるか。

答 現金が枯渇し職員の給与や取引先の支払いが行えないため経営の継続が困難になったと考える。

ハ 理事長に医師確保の責任ある取り組みを求めたのか。

答 医師を確保し早急に経営の改善を図ることを強く求めた。

ニ 理事長は来年4月までには1名の医師確保を計画していると言われた。確かな見通しがあるのか。

答 確定している医師の目途はたっていないとのことである。

ホ 医師確保が出来ない場合は、追加融資の事態が心配されるが。

答 追加の借り入れが生じないよう覚悟を持って取り組みたいとのことである。

問③ 前濱砂理事長が提訴した裁判は「前橋田市長が裁量権の範囲を逸脱、濫用したものとして認めるのが相当とし市議会での発言が名誉棄損に当たる」との判決が確定した。判決に対する見解は。

答 判決内容を重く受け止め控訴しなかった。損害賠償金の支払が命じられたことは重大なことと理解している。

問④ 米不足と価格高騰の原因は需要に対して米の生産量が足りていないからである。見解と作付面積への影響は。

答 米の価格引き下げが課題になっており生産農家の意欲減退にならないか国の動向を注視し、取るべき対策を考えたい。令和6年度に比較し早期水稲は166haの増、普通水稲は39haの増であるが、WCSは55haの減、飼料用米は15haの減、加工用米は140haの減となっているので、畜産農家への飼料供給に影響が出ることを懸念している。

円滑な自治体運営と市民の関心・参加を考察する

結　壱岐　秀光

動画はこちらから↓

問① 市政運営に取り組む市長の基本姿勢を伺う。

答 市民の皆さんの声に真摯に耳を傾け、誠実で透明性の高い市政運営を行う。

問② 災害時における高齢者や社会的弱者（要配慮者）の避難体制などを伺う。

答 避難行動要援護者名簿に記載し、個別避難計画を作成。

問③ 高齢者施設や学校などの避難確保計画の概要を伺う。

答 避難確保計画の作成および避難訓練の実施を義務付けており、本市では95施設が対象。

問④ 精神疾患に対する市の認識と対応策を伺う。

答 患者数の増加が考えられるので、各種福祉サービスへの繋ぎや関係機関との連携を図り、社会復帰の支援に努める。

問⑤ 本市・県における精神科救急医療体制を伺う。

答 24時間体制で精神科救急医療を提供する病院（輪番制）が整備されている。

問⑥ 県内における高次脳機能障害の発症者数を伺う。

答 令和5年度推計で、7054人（男性3706人・女性3348人）とされている。

問⑦ 高次脳機能障害者の実態把握と家族ケアを伺う。

答 当事者は各相談支援事業所への相談を受けて実態把握をしているが、家族ケアについては体制を含め課題を整理し検討する。

問⑧ 西都児湯医療センターの自己資本比率（財務体質の尺度）はいかほどか伺う。

答 令和6年度決算見込みで、マイナス24・9％である。

問⑨ 新病院建設（施設整備基本計画）の決定の流れを伺う。

答 庁内検討会や庁議での付議を経て、最終的に市長が決定。

問⑩ 現時点での新病院建設の可能性を伺う。

答 多くの課題を抱えるが、課題整理と併せ方向性を定める。

問⑪ 本市における道徳教育の特色を伺う。

答 みやざき動物愛護センターや県助産師会の協力を仰ぎながら生命尊重にかかる授業に注力。

問⑫ いじめ防止と道徳教育の関連性を伺う。

答 命の教育を含め道徳科の授業を核に児童生徒の道徳性を養うことが大切である。

■第3回臨時会・第4回臨時会・第5回定例会で審議された議案の審議結果

第３回臨時会【市長提出議案】

番号	議案名	審議結果	
第48号	専決処分の承認を求めることについて	承　認	全会一致
第49号	専決処分の承認を求めることについて	承　認	全会一致
第50号	専決処分の承認を求めることについて	承　認	全会一致
第51号	専決処分の承認を求めることについて	承　認	全会一致
第52号	専決処分の承認を求めることについて	承　認	全会一致
第53号	固定資産評価員の選任について	同　意	全会一致

第４回臨時会【市長提出議案】

番号	議案名	審議結果	
第54号	令和7年度西都市一般会計予算補正（第1号）について	原案可決	全会一致

第５回定例会【市長提出議案】

番号	議案名	審議結果	
第55号	西都市防犯対策事業基金条例の制定について	原案可決	全会一致
第56号	西都市旅費支給条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第57号	西都市企業立地促進条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第58号	西都市重度障害者の医療費助成に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第59号	西都市民体育館の設置及び管理に関する条例及び西都市民武道場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
第60号	令和7年度西都市一般会計予算補正（第2号）について	原案可決	全会一致
第61号	令和7年度西都市一般会計予算補正（第3号）について	原案可決	全会一致
第62号	令和7年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第1号）について	原案可決	賛成多数
第63号	令和7年度西都市介護保険事業特別会計予算補正（第1号）について	原案可決	全会一致
第64号	令和7年度西都児湯公平委員会特別会計予算補正（第1号）について	原案可決	全会一致
第65号	令和7年度西都市公共下水道事業会計予算補正（第1号）について	原案可決	全会一致
第66号	令和6年度西都市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	全会一致
第67号	令和6年度西都市簡易水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	全会一致
第68号	令和6年度西都市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	全会一致
第69号	令和6年度西都市農業集落排水事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決	全会一致
第70号	令和7年度西都市一般会計予算補正（第4号）について	原案可決	全会一致
第71号	トイレトレーラー売買契約の締結について	原案可決	全会一致
第72号	パーティション及び浄水器売買契約の締結について	原案可決	全会一致
第73号	段ボールベッド売買契約の締結について	原案可決	全会一致
第74号	一ツ瀬川営農飲雑用水広域水道企業団規約の変更について	原案可決	全会一致

賛否の分かれた議案等の表決一覧

番号	件名	議員名（左から議席番号順）															審議結果
		荒川敏満	森祐子	壱岐秀光	浦田明子	村上修乗	米良弥	岩切一夫	太田寛文	田爪淑子	黒木吉彦	中武邦美	井上司	井上久昭	狩野保夫	橋口登志郎	
第62号	令和７年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第１号）について	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	原案可決

○：賛成　●：反対　欠：欠席

※議長のため表決に参加しない

5月臨時会 各委員会審査報告

総務委員会審査概要

◎付託案件審査件数 1件
◎審査結果
　すべての議案について全会一致をもって原案可決。
◎審査過程で出た意見要望等
　地方独立行政法人西都児湯医療センター長期貸付金の返済については5年間据え置いた後、15年間の返済と長期間になるので、その管理については予算書等において適正に行っていただきたい。

文教厚生委員会審査概要

◎付託案件審査件数 1件
◎審査結果
　議案第54号については、本委員会で協議した結果、当事者である地方独立行政法人西都児湯医療センター理事長を参考人招致することを決定し、その後、理事長を参考人として招致し、意見を伺った。本案は、賛成討論がなされ、採決の結果、全会一致をもって原案可決。

6月定例会 各委員会審査報告

総務委員会審査概要

◎付託案件審査件数8件
◎審査結果
　すべての議案について全会一致をもって原案可決。陳情1件を採択。
◎審査過程で出た意見要望等
　基幹システムの変更やBPR支援業務などは、業務改革等のために行うものであるが、いずれも内部の事務処理の効率化に留まらず、市民サービスの向上、ワンストップ窓口化に向けたシステムとなるようお願いしたい。
　かんたん窓口システム入力の導入について、高齢者などタブレット操作に不慣れな市民のため、補助員の丁寧な対応をお願いしたい。
　市の備蓄については、中央管理型と支所単位の分散型備蓄を適切に組み合わせていくという備蓄方針及び避難所設置、整備等の公平性の確保等は十分理解できるものであるが、遠隔地に在住する地域住民の不安解消のためには、地域に根差した備蓄の推進や避難所整備などの支援対策等にさらに取り組む必要があり、陳情の願意は妥当と考える。

文教厚生委員会審査概要

◎付託案件審査件数 7件
◎審査結果
　議案第55号、58号、59号、61号、63号については、賛成討論がなされ、全会一致をもって原案可決。
　議案第62号については、反対討論がなされ、採決の結果、賛成多数をもって原案可決。
　議案第70号については、全会一致をもって原案可決。
◎審査の過程で出た意見・要望等
　西都中学校スクールバス運営事業については、遠方から通学することになる学生の利便性確保と予算のバランスが取れるよう調査される事を希望する。また、部活や勉学等の事情でスクールバスに頼らず、登下校に自転車を使う生徒が出ることが予想され、通学時の安心安全確保のため、交通事故や不審事故等に遭わないように調査され、自転車通学の多面的な安全性を確保する手段を早急にとっていただきたい。
　西都中学校の新南校舎の建設工事着工を見込み、テニスコートを妻地区館(旧西都市中央公民館)の跡に新設する予算が提案されている。現在のテニスコートの場所の変更は理解できるが新設場所については、さらに検討していただきたい。
　バッテリーフォークリフト購入に伴い、粗大ごみ置き場に充電用の電源設備を設置する費用が提案されているが、災害時における電源対策を図っていただきたい。
　市民会館の特定天井の脱落防止大規模改修に伴い、令和10年から11年の間、会館の使用が出来なくなることで、本市の文化行事や指定管理業務への影響等が考えられるので、十分な協議、検討していただきたい。

産業建設委員会審査概要

◎付託案件審査件数9件
◎審査結果
　全ての議案について、全会一致をもって原案可決。陳情1件を採択。
◎審査の過程で出た意見・要望等
　世代交代円滑化事業補助金等は、農業の担い手の確保等を推進する極めて重要な事業である。これらの貴重な財源が効果的に活用され、有望な新規就農者の確保
（次ページへ）

※委員長報告全文はホームページでご覧ください。

さいと 市議会だより
第121号 令和7年8月1日発行
発行／西都市議会
編集／議会報編集委員会

（前ページより）

等に繋がるよう、市が主体的に推進していただきたい。

空き店舗等利活用促進事業補助金は、自己負担なく空き店舗等の活用ができるため大変良いことである。本市全域において活用され、市内の空き家等の問題解決となるよう進めていただきたい。

測量設計業務委託料等は、西都商業高校跡地周辺道路改良に関する業務委託であるが、地域の活性化等に貢献できる。早急に地区住民等に対する説明・協議を十分に行っていただきたい。

物件調査業務委託料等は、西都バスセンターの不動産鑑定等であるが、本市の拠点となる重要な地域であるため、その計画の内容を早急に示し、市の活性化につながるよう十分な検討を行っていただきたい。

陳情審査結果

旧都於郡小学校山田分校の避難所としての整備等に関する陳情	採択
令和8年度新規就農者定着支援ハウス団地事業の急遽中止を受けたことに対する支援を求めるための陳情	採択

議会構成

4月28日に新しい議会構成が決まりましたのでご紹介します。

副議長

橋口　登志郎

新田原基地対策調査特別委員会

（前列右から）
中武 邦美　委員長
浦田 明子　副委員長
（後列右から）
太田 寛文　委員
森 祐子　委員
井上 司　委員

全国市議会議長会永年勤続表彰

このほど、田爪淑子議員、太田寛文議員、岩切一夫議員が15年の永年勤続の功労により、全国市議会議長会から表彰されました。

平成18年初当選（現在4期目）
田爪淑子　議員

監査委員、文教厚生委員長、総務副委員長、特別委員会改革対策調査副委員長などの要職を歴任。

平成22年初当選（現在4期目）
太田寛文　議員

議長、副議長、監査委員長、議会運営委員長、総務委員長、新田原基地対策調査特別委員長などの要職を歴任。

平成22年初当選（現在4期目）
岩切一夫　議員

副議長、総務委員長、議会運営委員長、新田原基地対策調査特別委員長などの要職を歴任。

編集後記

今年は異例の早い梅雨明けで、長期戦の猛暑となり、また、梅雨の期間が非常に短かったため雨量が少なく全国各地でも深刻な水不足が懸念され、日常生活のみならず本市の基幹産業であります農畜産物にも大変深刻な影響が出ています。年々暑さの度合いが増してきているこの頃ですが、外に出かける際も室内にいるときでもこまめな水分補給を習慣づけご自愛ください。

このたび再任した私たち議会報編集委員会では、読者であります市民のみなさまが議会を身近に感じ、関心を持っていただけるように、これからも委員一丸となり紙面づくりに励みます。

（壱岐　秀光）

―議会報編集委員会―

委員長　岩切一夫
副委員長　壱岐秀光
委員　森　祐子
〃　浦田明子
〃　村上修乗
〃　太田寛文

お詫びと訂正：議会だより第120号2ページの記事中に次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
（誤）一般財団法人西都市観光協会　（正）一般社団法人西都市観光協会

〒881-8501 宮崎県西都市聖陵町2丁目1番地
TEL:0983-43-1323 FAX:0983-43-3699